

航空業界へ 267人巣立つ

中日本航空専門学校

関市迫間の中日本航空専門学校で19日、卒業式が行われ、航空産業を担う267人が学びを巣立った。



卒業生は、航空整備科125人、航空システム科75人、エアポートサービス科67人。就職内定率は100%で、大半が航空関連企業に就職する。また、本年度は一等航空運航整備士はじめ各種整備士資格に110人が合格した。

式では、磯本聡一校長が各科の代表に卒業証書を授与し「社会に出てからもたゆまぬ努力をし、社会人としての基礎をいち早く固めてもらいたい」と式辞を述べた。来賓祝辞に続いて、卒業生を代表して、エアポートサービス科の吉田健智さんが「本校で学んだことを生かし、技術者としても人間としても成長し、航空業界に貢献していきたい」と決意を述べた。(中山敦)

航空業界への貢献を誓う
卒業生＝関市迫間、中日本航空専門学校